

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2004年9月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みません。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（9月30日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

## 運用報告書（全体版）

# イーストスプリング・ インド株式オープン

第14期（決算日 2018年10月1日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「イーストスプリング・インド株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税 込		投資信託証券 組入比率	純資産額 総額
		分配金	期中 騰落率		
10期 (2014年9月30日)	円 13,874	円 1,000	% 53.4	% 94.0	百万円 76,652
11期 (2015年9月30日)	13,634	0	△ 1.7	98.0	89,835
12期 (2016年9月30日)	12,372	0	△ 9.3	98.3	77,003
13期 (2017年10月2日)	14,884	1,000	28.4	98.4	91,671
14期 (2018年10月1日)	14,937	0	0.4	96.5	91,568

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

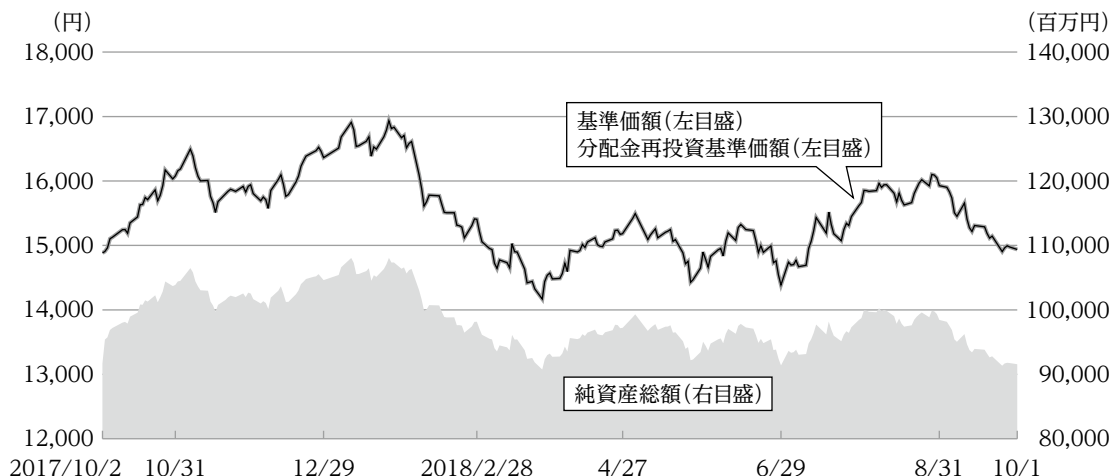
年 月 日	基準価額	騰 落 率	
		騰 落 率	投資信託証券 組入比率
(期 首) 2017年10月2日	円 14,884	% —	% 98.4
10月末	16,076	8.0	98.4
11月末	15,941	7.1	99.0
12月末	16,363	9.9	98.9
2018年1月末	16,514	11.0	98.4
2月末	15,405	3.5	99.1
3月末	14,481	△ 2.7	98.6
4月末	15,182	2.0	98.8
5月末	14,662	△ 1.5	98.7
6月末	14,386	△ 3.3	98.9
7月末	15,666	5.3	99.0
8月末	15,928	7.0	99.5
9月末	14,975	0.6	96.5
(期 末) 2018年10月1日	14,937	0.4	96.5

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2017年10月3日～2018年10月1日)



第14期首	14,884円
第14期末	14,937円(既払分配金0円)
騰落率	0.4%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 基準価額の推移をわかりやすく表示するため、今回より分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。したがって、前期までとは形状が異なる場合があります。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は小幅に上昇しました。

上昇要因

・企業業績の回復期待などからインド株式市場が上昇したこと。

下落要因

・原油価格の上昇などを背景にインドルピー安円高となったこと。

### インド株式市場

2017年10月下旬以降は、政府による国営銀行への巨額の資本注入策と大規模な高速道路建設プロジェクトの発表が好感されてインド株式市場は上昇しました。2018年に入ると海外市場の大幅上昇後に急反落した動きにつられて、インド株式市場も上昇後に調整しました。その後、2月に発表された長期保有の株式に対するキャピタルゲイン課税の導入が嫌気されたこと、また同月中旬に大手国営銀行の不正取引問題が明らかになったこともあり3月まで軟調となりました。4月からは今後の企業業績の回復期待が高まって概ね上昇傾向となり、特に7、8月は4-6月期決算が良好な内容だったことを受けて株価は大幅高となりました。インドの主要株価指数であるSENSEX指数はこの間、最高値を更新しました。9月中旬以降は、原油高やインドルピーの対米ドルでの下落、ノンバンクセクターの流動性懸念などを背景に期末まで調整しました。

### 為替市場

インドルピーは、外国人投資家からのインド金融市場への資金流入の増加などを背景に期初から2018年1月まで対米ドルで堅調となりました。しかし、2月に入ると世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まる中で反落し、4月から5月にかけては原油価格の高騰と米金利上昇が嫌気されてさらに下落しました。8月中旬にはトルコリラの急落を受けて新興国通貨が全般的に対米ドルで売られたことから、ルピーも対米ドルで一段安となりました。円も通期で対米ドルで下落しましたが、ルピーの下落幅の方が大きかったことからルピーは対円でも下落しました。

### 国内債券市場

日本国債市場は、期初から2018年7月中旬まで一進一退の動きとなりました。7月下旬に日銀が金融政策を修正するとの観測が報じられたことを受けて、国債利回りは上昇しました。7月31日の金融政策決定会合で、長期金利の変動幅拡大が容認されると、国債利回りはさらに上昇しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の

組入れを減らしました。当期は、携帯通信事業部門の契約者数増加や主力の石油精製販売等の良好な業績が好感されたリライアンス・インダストリーズや、欧米の景気回復やインドルピー安で海外向け事業が恩恵を受けると見られたIT企業のインフォシスの保有などがプラス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第14期	
	2017年10月3日 ～2018年10月1日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,610

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インド・エクイティ・オープン

インド経済については、強気の長期見通しを維持しています。企業業績は、需要の拡大や上向きの投資サイクルなどに支えられて、今後徐々に回復傾向を辿ると見られています。インドは原油の純輸入国であるため、2017年後半から上昇傾向にある原油価格の動向には注意が必要です。引き続き改革の進展や景気の動向に着目しつつ、国内の経済活動の活発化によって恩恵を受けると見られる銘柄の中でも、特にファンダメンタルズが強く割安な銘柄に注目しながら、選別投資を行っていく方針です。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債)追加型I (適格機関投資家向け)

長期債利回りは日銀が容認する新たな変動幅の範囲内で推移すると見られます。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

## 1 万口当たりの費用明細

(2017年10月3日～2018年10月1日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	204円	1.322%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、15,464円です。
( 投信会社)	( 83)	(0.539)	委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	(117)	(0.754)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
( 受託会社)	( 4)	(0.029)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( その他1)	( 0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
( その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	204	1.324	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## 売買及び取引の状況

(2017年10月3日から2018年10月1日まで)

### 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・ インベストメンツ・インディア・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			1,289	48,000	2,112	81,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

## 利害関係人との取引状況等

(2017年10月3日から2018年10月1日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2018年10月1日現在)

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	401,177	401,177	434,515	0.5
合 計	401,177	401,177	434,515	0.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	22,087	21,264	771,481	87,887,208	96.0
合 計	22,087	21,264	771,481	87,887,208	96.0

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。



## 投資信託財産の構成

(2018年10月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	434,515	0.5
投 資 証 券	87,887,208	94.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,259,963	4.6
投 資 信 託 財 産 総 額	92,581,686	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(87,887,208千円)の投資信託財産総額(92,581,686千円)に対する比率は94.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年10月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.92円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	92,581,686,610円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,259,962,639
投資信託受益証券(評価額)	434,515,199
投資証券(評価額)	87,887,208,772
(B) 負 債	1,013,432,424
未 払 解 約 金	377,352,451
未 払 信 託 報 酬	635,350,440
未 払 利 息	12,488
そ の 他 未 払 費 用	717,045
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	91,568,254,186
元 本	61,303,263,804
次 期 繰 越 損 益 金	30,264,990,382
(D) 受 益 権 総 口 数	61,303,263,804口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,937円

(注1) 元本の状況

期首元本額	61,590,010,538円
期中追加設定元本額	15,170,579,836円
期中一部解約元本額	15,457,326,570円

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期(自2017年10月3日 至2018年10月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,413,544円
支 払 利 息	△ 1,413,544
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	766,495,504
売 買 損 益	1,879,463,862
売 買 損 益	△ 1,112,968,358
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,303,810,773
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 538,728,813
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	4,733,347,778
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	26,070,371,417
(配 当 等 相 当 額)	( 29,660,926,804)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,590,555,387)
(G) 計 (D+E+F)	30,264,990,382
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	30,264,990,382
追 加 信 託 差 損 益 金	26,070,371,417
(配 当 等 相 当 額)	( 29,660,926,804)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,590,555,387)
分 配 準 備 積 立 金	4,734,417,018
繰 越 損 益 金	△ 539,798,053

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(29,660,926,804円)および分配準備積立金(4,734,417,018円)より、分配対象収益は34,395,343,822円(10,000口当たり5,610円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

### 復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド		
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型		
表示通貨	米ドル		
運用の基本方針	インドの株式を主な投資対象とし、中長期的なトータル・リターンを最大限の獲得を目指した運用を行います。		
主な投資対象	インドの金融商品取引所に上場されている株式		
ベンチマーク	MSCI India Total Return Net Index (MSCIインド指数 (税引き後配当再投資)) ※ <sup>1</sup>		
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	管理会社	Vistra (Mauritius) Limited	
手数料等	申込手数料	ありません。	
	運用報酬	(純資産額500万米ドル以下の部分)	年率0.35%
		(純資産額500万米ドル超の部分)	年率0.30%
	管理報酬等	年率0.25% (上限)	
上記には、監査費用、組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が含まれます。			
設立日	2004年9月29日		
決算日	毎年8月31日		

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募		
表示通貨	日本円		
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。		
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債		
ベンチマーク	ICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) ※ <sup>2</sup>		
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>		
申込手数料	ありません。		
信託報酬	年率0.216% (税抜0.2%)		
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。		
信託設定日	2002年8月26日		
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)		

※<sup>1</sup> MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※<sup>2</sup> ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2017年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

## 純損益及びその他包括利益計算書

2017年8月31日に終了した事業年度

米ドル

### 収益

受取配当金	15,506,431
受取利息	58,155
	<u>15,564,586</u>

### 費用

保管銀行費用	542,933
運用報酬	2,689,876
取引手数料	24,040
監査報酬	31,971
専門家報酬	41,955
銀行手数料	2,921
管理費用	195,490
免許登録費用	5,625
計算事務費用	244,070
税金手数料	35,453
売買委託手数料	2,127,709
	<u>5,942,035</u>

### 投資及び外国為替取引における実現及び未実現利益（損失）

投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	77,562,750
外国為替取引に係る純利益（損失）	678,458
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	65,601,747
	<u>143,842,955</u>

### 償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額

税金	(588,682)
----	-----------

### 償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額

152,876,824

## 投資有価証券明細表

2017年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資 産比率 (%)
株式:				
Aditya Birla Fashion and Retail Ltd	3,299,709	8,893,289	8,811,712	0.91%
Axis Bank Ltd	3,136,338	23,788,194	24,513,894	2.52%
Bank of Baroda	10,487,238	27,352,871	22,583,093	2.33%
Bharat Petroleum Corp Ltd	4,396,000	20,187,346	36,326,946	3.74%
Bharti Airtel Ltd	4,134,673	19,714,531	27,624,597	2.84%
Brigade Enterprises Ltd	1,156,271	4,566,511	4,795,564	0.49%
Cipla Ltd	2,211,104	17,884,580	19,753,534	2.03%
Coal India Ltd	8,041,876	34,593,874	29,823,158	3.07%
Dr Reddy's Laboratories Ltd	576,168	20,165,183	18,189,028	1.87%
Gail (India) Ltd	4,767,486	21,866,021	28,173,532	2.90%
Godrej Consumer Products Ltd	1,177,456	10,564,676	17,092,916	1.76%
Gujarat Pipavav Port Ltd	5,117,763	11,586,085	10,221,072	1.05%
HCL Technologies Ltd	72,804	735,808	984,096	0.10%
HDFC Bank Limited	484,573	3,311,881	13,447,072	1.38%
Hero MotoCorp Ltd	437,213	25,258,614	27,285,773	2.81%
Hindalco Industries Ltd	9,323,866	21,904,531	34,664,785	3.57%
Hindustan Zinc Ltd	3,416,920	10,824,726	15,722,057	1.62%
Housing Development Finance Corporation Limited	2,689,671	47,129,788	74,658,229	7.69%
ICICI Bank Ltd	1,837,492	7,097,581	8,555,199	0.88%
Infosys Ltd	5,463,945	76,422,291	78,094,278	8.04%
ITC Ltd	4,814,759	12,448,338	21,228,731	2.19%
Kotak Mahindra Bank Ltd	636,329	6,495,088	9,701,683	1.00%
Larsen & Toubro Ltd	2,549,450	34,422,541	45,253,799	4.66%
LIC Housing Finance Ltd	2,829,874	17,579,173	29,788,310	3.07%
Mahanagar Gas Ltd	1,007,743	8,246,784	16,432,492	1.69%
Marico Ltd	3,419,934	12,519,272	16,852,479	1.74%
Maruti Suzuki India Ltd	16,091	891,818	1,935,558	0.20%
Max Financial Services Ltd	1,851,508	8,903,015	17,398,542	1.79%
Mindtree Ltd	2,129,701	21,224,462	15,336,812	1.58%
Mphasis Ltd	1,410,630	13,624,279	13,422,000	1.38%
NMDC LTD	6,835,106	12,198,093	13,522,780	1.39%
Reliance Industries Ltd	2,081,038	35,562,014	51,834,638	5.34%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
Rural Electrification Corporation Ltd	8,837,072	18,933,828	23,267,659	2.40%
State Bank of India	654,681	2,418,544	2,840,530	0.29%
Sun Pharmaceutical Industries Limited	1,399,058	11,435,390	10,515,544	1.08%
Tata Consultancy Services Ltd	921,967	31,792,425	35,953,104	3.70%
Tata Motors Ltd	3,438,667	24,096,142	20,226,853	2.08%
Tata Motors Ltd DVR Shares	7,461,693	20,923,527	25,497,698	2.63%
Tata Steel Ltd	2,764,714	17,826,356	27,556,272	2.84%
Ultratech Cement Ltd	153,699	6,889,414	9,604,838	0.99%
Vedanta Limited	6,240,810	22,059,191	30,114,414	3.11%
Vijaya Bank	9,845,740	9,708,224	9,697,259	1.01%
		764,046,299	949,302,530	97.76%
優先株式:				
Vedanta Limited - 7.5PCT Redeemable preference shares	14,155,096	—	2,255,426	0.24%
		—	2,255,426	0.24%
		764,046,299	951,557,956	98.00%
その他資産			19,489,280	2.00%
純資産			971,047,236	100.00%

「イーストスプリング・インド株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド(国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2017/2/28 ～2018/2/26		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.215%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,879円です。
(a) 信託報酬			
(投信会社)	(15)	(0.140)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	余資産運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	24	0.228	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細

(2018年2月26日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内(邦貨建) 公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	648,000	704,487	97.8	—	41.2	43.9	12.6
合 計	648,000	704,487	97.8	—	41.2	43.9	12.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示  
 国内（邦貨建）公社債  
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第112回 利付国債（5年）	%	千円	千円	
	第298回 利付国債（10年）	0.4	40,000	40,068	2018/06/20
	第300回 利付国債（10年）	1.3	10,000	10,118	2018/12/20
	第301回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,139	2019/03/20
	第305回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,536	2019/06/20
	第306回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,182	2019/12/20
	第310回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,634	2020/03/20
	第310回 利付国債（10年）	1.0	25,000	25,728	2020/09/20
	第311回 利付国債（10年）	0.8	50,000	51,200	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	26,100	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,886	2021/06/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	42,395	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	53,709	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	43,397	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	32,197	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	55,068	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	50,420	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	23,052	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	43,959	2025/06/20
第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	64,850	2026/03/20	
第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	59,842	2026/09/20	
合 計			648,000	704,487	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。